



Global Approach Modular Experiment (GAME) 募集要項

2016年に実施される上記の国際研究教育プロジェクトに参加する大学院生（もしくは学部学生）を募集中です。次期プログラム（2016年3月～12月）では、海洋のマイクロプラスチック汚染が底生動物（ベントス）に与える影響を検証することをテーマとした課題を実施予定です。

GAME (Global Approach by Modular Experiment) とは？

地球規模で進行する環境変動に対する生物群集の反応を理解するには、環境条件の異なるさまざまな地域で同じデザインの実験を行い、その結果を比較することにより、一般性と特異性を検討する方法（「モジュール実験によるメタ解析」）が有効です。GAMEはこのような実験方法により、生物群集の変動プロセスを統合的に解明すること、また、そのような地球規模の視野を持った専門家を育成することを目的として、ドイツ最大の海洋研究所である GEOMAR（キール大学と連携）が主催して行っている国際研究教育プロジェクトです。日本からは、平成 16 年度より東北大学や千葉大学、北海道大学などの大学院生、学部生が参加しています。本プロジェクトの詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.geomar.de/en/research/fb3/fb3-oe/fb3-oe-b/game/>

GAME の特徴的な点は、世界各国（含む日本）から参加する大学院生がドイツの大学院生と 2 名のチームを組み、それぞれの国（日本）で約 6 ヶ月の実験を行うところです。その前後に行われるドイツでの講義、実習を含めて 10 ヶ月のプロジェクトになります。具体的なスケジュールは下記の通りです。

- ・2016年3月：ドイツ・キールにある GEOMAR で事前講習を受けます（4週間）
- ・2016年4～9月：厚岸臨海実験所にてドイツ人のパートナーと 2 名 1 組で課題研究を実施します
- ・2016年10月～12月：GEOMAR にて、データ解析と論文執筆を行います。また、ドイツ北部各地で研究成果発表会などに参加します。

GAME の研究成果は、各参加者が修士論文・博士論文・学部の学位論文などの一部として利用することができます。さらに、世界各地のデータを統合したメタ解析に参加することにより、評価の高い国際誌への投稿も行っています（実際に投稿するかどうかは、その時の研究成果の質によります）。

募集人数

1 名(大学院生あるいは学部 4 年生で、上記期間に本プロジェクトに専念できる方)

問い合わせ先

仲岡 雅裕 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所)
nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp